
My world Herr's life

マスク

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

My world Her's life

【Nコード】

N1177B

【作者名】

マスク

【あらすじ】

病室のベットで彼女は目を覚ます。なぜ、自分は生きているのだらう？なぜ、自分が生き残ったのだらう？様々な思いを胸に彼女は思い出す…彼との出会い…思い出を…

プロローグ（前書き）

自称「駄文量産型妄想小説家」による、初の恋愛物です。

プロローグ

「分かるわ……私の中には、彼がいるのね……そうでしょう？先生……」

彼女は病室にいた、ひまわりの花が、彼女のベットの横にある棚に飾られていた。それ以外に病室には彩りは無く、ただ、真っ白な病室だった。そのせいか、ひまわりの花はとても鮮やかに飾られていた。

「本当に……不器用だね……最後に花を送ったって、あなたがいなければ……」

彼女は笑っていた。しかし、その瞳からは涙が止まる事はなかった。

「歌恋さん……君の為に彼が……音音君が選んだ事だよ……」

彼女の隣には医師が立っていた。慰める様に医師は話しかける。

「桜田先生……」

桜田先生と呼ばれた医師は、歌恋に近付き手を握った。

「君は……生きていかなければならない……分かるね？」

桜田は歌恋に残酷な事を言っている気がして、やりきれなかったが、これも、彼の希望であった為にそう言うしかなかった。

「……私一人が生きてても音音は帰って来ない……でも、私が生き

ている事が音音が生きている事になるのね…」

歌恋の声は今にも消えそうな程の声だったが、桜田は驚いた。まさかこんな返事が返って来るとは思いもしなかったし、何より彼女の強い意志を感じたからだ。

「そうだな、君の中には音音君の…」

桜田が大事な話をしている様だが、歌恋は遠くを見つめていた。桜田の声は聞こえていない。歌恋は、音音と出会った日を思い出していた。

歌恋の朝

その日はとても、天気が悪い日だった。お決まりの作り笑顔で、お天気アナウンサーが午後から雨が降ると言っていた。

雨は好きだ。世界の汚れた所を全て洗い流してくれる。そんな気がするから。今日もバイトだ。私はバイキング形式のレストランでバイトをしている。なかなかオシャレな制服が気に入っている。

「確か…今日新人さんが入って来るんだよね。どんな人かな……」

私は久しぶりに入って来る新人の事を考えながら仕事に出かける用意をする。

私は軽くシャワーを浴びて、体重計に乗る、針が回っている。

「やった、ちよつと痩せたかも」

毎日の体重チェックを済ませると私はトースターにパンをセットし、紅茶を煎れる。朝は余裕を持って過ごすべきだと思う。紅茶を飲みながらパンの焼けた香りと紅茶の香りを楽しんで簡単な朝食を済ませて私は家を出た。

外はやっぱり、天気が悪かった。まだ、雨は降ってないけど、空は曇っている。

「雨、いっぱい降るかなあ……」

暫く空を眺めて、私は歩き出した。職場へはバスに乗って15分か

かる。10時から仕事は始まるから、9時のバスに乗って9時半に職場へ着くようにしている。

「今は8時45分か…うん」間に合う間に合う」

天気が悪いのもあって私はちょっと気分良くバス停に向かう。

バス停には予定より早く着いた。バスを待っている時間も私は好きだ。小さい頃、お母さんとバスを待っていると

「歌恋、バスは幸せを運んでくるの。だから、幸せを待っている私達は幸せよ。」

と言われて、すごく得した気になってた。今もちょっとだけそう思う。

今日は珍しく私一人がバス停にいた。暫くすると一人の男の人が来た。見た目はすごく綺麗で背が高く、ちょっと髪が長いから顔はあまり見えなかったけど、落ち着いた雰囲気だった。私は、なぜかその人が気になって声をかけた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1177b/>

My world Herr's life

2010年12月31日14時49分発行